

## 県内産業

# Information

～創業125年 変えるものと変えないもの～ **株式会社叶屋食品**

### 会社概要

本店 渋川市渋川2259  
 電話 0279-23-0137  
 代表 狩野 桂一氏  
 資本金 27000千円  
 業種 製麺業、米穀卸  
 URL <http://www.kano-ya.co.jp/>



狩野 桂一 社長

### 渋川の中心地で創業

ここ数年、流通各社は生き残りをかけて低価格路線を推進、さまざまな低価格PB商品（プライベートブランド＝自主企画）が市場に登場している。

このようななかで、低価格路線とは一線をかくし、125年にわたって「味」と「品質」と「価格」をまもってきた食品メーカーがある。

今回、紹介するのは(株)叶屋食品。

古くから現在の渋川市で水車を使った製粉、米穀卸を営んでいたが、1885年（明治18年）初代が製麺所（乾麺）を創業。4代目となる現在の商品構成は、うどん・そば・ラーメン等々。加えて業務用生パスタ・餃子の皮、等も製造している。商品の流通は食品スーパー、百貨店等の小売店販売が概ね80%、飲食店など業務用が20%。商品構成は生麺80%、乾麺20%となっている。

また群馬県産小麦を使った「地粉うどん」を製造、フレッセイが販売するなど「地産地消」「地域貢献」に熱心な地元スーパーとの取り組みも進んでいる。



当社製品

### 125年の老舗

老舗企業をどのように守ってきたのだろうか。その秘訣として、狩野社長は「その時代ごとの空気を読む」「こつこつ行動する」という理念を掲げ、原動力としている。

顧客の声に耳をかたむけ、年間10品目くらいの新商品を発表している。事業規模に大幅な変動はないものの、老舗にあぐらをかくことなく、絶えず時代にあった商品の入れかえを実施しているのである。

社長は、顧客や商品とともに、従業員や地域への配慮も欠かさない。当社で働く人のなかには勤続40年という熟練者もいる。従業員を大切にすることは恩恵というかたちで会社に舞いもどってくる。愛社精神は商品の質にも結びつく。大量受注があり休日にも製造ラインを動かす場合、従業員が進んで対応してくれるという。

また、地域の祭りなどの行事には積極的に参加して関係を築いている。その結果、経営者、従業員、地域の連帯感が自然と強まってくるのである。

一方では近年、消費不況を勝ち抜くために可能な限りムダをそぎ落とし、低価格路線をおしすすめる企業が増えている。社長はその事態を憂慮する。安売り路線をとる会社にたいして「このままいくと、価格破壊どころか、業界や自らの会社までも破壊してしまうのでは」と。

叶屋食品は現在、年末年始の取り組みとして「年明けうどん」のキャンペーンを推進している。同キャンペーンは、もともと讃岐地区のうどん店が始めたもの。数年後、当社の製品が「年越しそば」「年明けうどん」として定着しているかも知れない。